

第 10 回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 10 月 11 日（火曜）		午前 9 時 30 分 開会	
	休 憩 9:47-53 9:56-57 10:18-19			
	午前 10 時 30 分 閉会			
	休憩時間：0 時間 8 分		会議時間：0 時間 5 2 分	
会議場所	役場 3 階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	鈴木 健充	委員	寺町 平一
	副委員長	中田智恵子	委員	中村 和宏
	委員	梶澤 幸治		
	委員	立川 美穂		議長 早苗 豊
説明員	環境土木課長	橋本 直樹		
	同課長補佐	齋藤 和也		
	魅力創造課参事	小林 徳昭		
参考人				
欠席委員 氏 名				
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係長	佐藤 史彦
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開 会				
委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。				
2 議 件				
(1) 調査事項				
ア 公衆浴場について 資料 1				
<ul style="list-style-type: none"> ・環境土木課長：資料説明（「現在までの町の対応について」、「公衆浴場の確保について」） ・梶澤委員：今後の町の対応として、公衆浴場の申請事業者に対する補助が予定されているが、指定管理者事業の要素も含むものか？ ・課長：あくまでも公衆浴場確保制度であり、プール事業に関する委託業務が対象ではない。 ・中田委員：公衆浴場の入浴料金はいかほどか？プール利用者と単独利用者との料金設定の違いはどのようなものか？ ・課長：公衆浴場の営業許可を得た場合は上限 480 円の利用料金設定となる。プール利用者に係る公衆浴場料金は、当課では把握していない。 ・梶澤委員：プール利用者優先の公衆浴場と理解するが、公衆浴場の本来の趣旨である自宅等に浴室のない対象者に支障のないよう、事業者との事前協議は必要であると 				

考える。新たに認可を受けようとする公衆浴場は規模がさほど大きくないと捉えるが、担当課として、新たに事業支援しようとする公衆浴場に対しての基本姿勢は？

- ・課長：関係三課（生涯学習課・都市経営課）で情報共有しながら、御意見を踏まえて検討していきたい。
- ・梶澤委員：事業者に対する町の利用指針のようなものは、いつ頃をめどに整理する考えか？
- ・課長：事業協議を進めている段階であり、年度内をめどに協議をしていきたい。
- ・立川委員：町の補助制度について、改めて施設の対象範囲と概算金額は？
- ・課長補佐：あくまでも公衆浴場としての施設を対象とし、現行の補助要綱では、上限年間補助額として、衛生管理で10万円、設備100万円、下水道料金120万円等で、年額上限330万円。
- ・立川委員：施設の区分（プール等と公衆浴場の設備全体）は明確になっているのか？
- ・課長：今後の整理事項となる。
- ・梶澤委員：トータル的な課題整理（指定管理者事業と公衆浴場事業の区分、利用料金設定等）が必要となるが、その基本姿勢は？
- ・課長：関係課（生涯学習課、都市経営課）と公衆浴場担当課である我々が共通認識を持ち、課題整理に向けて、密に取り組んでいきたい。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 新嵐山スカイパークについて 資料2

- ・魅力創造課参事：資料説明（新嵐山活用計画の定義、見直しの背景、新嵐山活用計画検討会議の設置、スケジュール等）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・中村委員：2班体制で行う検討の手法とは？
- ・参事：活用計画の7事項について、全て検証したい。内容は同じ。
- ・中村委員：11月～3月の4回の会議を予定。スケジュールは？
- ・参事：2班に分かれてグループワークを行い、検証報告を全体で行うイメージ。
- ・中村委員：無作為抽出の年齢条件等は？
- ・参事：年齢、性別、職種に限らず選定したい。一例で言えば、学生から高齢者まで幅広い参加を期待する。
- ・梶澤委員：子どもからお年寄りまでという視点は重要。無作為抽出としても、20代から80代までなど多世代からの声を聴く仕掛けが重要ではないか。
- ・参事：御意見を踏まえて、十分検討し実現に向けて取り組みたい。
- ・梶澤委員：業務委託のコーディネートは地元事業者か？
- ・参事：全国的な実績のある事業者をイメージしている。
- ・梶澤委員：検討テーマの設定は重要である。担当課として最も重視するテーマは？
- ・参事：リノベーションプラン（管理・運営手法の見直し）について、今後、どのように進むべきかを重視したい。

- ・梶澤委員：同感である。ターゲットを明確にし、町民と町外者とを区分しながら、議論を進めていただきたいがいかがか？
- ・参事：経営理念にもふたつの視点を明記している。御意見を踏まえて、今後の会議体で議論していきたい。
- ・立川委員：ワークショップの進め方について伺いたい。町民ファシリテーターなどの活用はイメージしているか？
- ・参事：検討はしてきたが、今回の事業は、タイトなスケジュールとテーマの難易度が高いため、見送った。
- ・立川委員：サポート役としての活用はいかがか？
- ・参事：御意見を踏まえて参考にしたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する

ウ 令和4年度総務経済常任委員会の抽出事業について 資料3

- ・委員長：前回委員会で共通認識を図った「アンケート」について、提案したい。意見・質疑はないか？
- ・中田委員：答えやすく、わかりやすい内容であり、早めに実施していきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：このアンケートについては、今月末（10月末日）を期限とし実施することで決定する。調査事項「ウ」を終了する。

エ 9月定例会議の振り返りについて 当日資料4

- ・委員長：提出がなかったことから、「振り返り」はなしとして良いか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：調査事項「ウ」を終了する。

- ・委員長：自由討議について諮る。調査事項「ア」について意見はないか？
- ・立川委員：他の関係課に及ぶ事項があり、必要に応じて継続的に調査を進めるべきと考える。
- ・寺町委員：担当課長の答弁では、年度末まで整理するとのことだった。急務もあるため、継続調査すべきと考える。
- ・梶澤委員：町が年度末で整理できた事項について、委員会調査をすべきと考える。
- ・委員長：以上で、調査事項「ア」の自由討議を終了する。

- ・委員長：調査事項「イ」について意見はないか？
- ・梶澤委員：委員選定手法である無作為抽出については、幅広い対象を期待したい。また、町の取組の状況把握として、正副委員長が担っていただき、適宜、委員会に情報

共有をしていただくことを希望する。

- ・委員長：以上で、調査事項「イ」の自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

正副委員長一任

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？

・(なし)

- ・委員長：事務局からないか？

・(なし)

以上で総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年10月11日

総務経済常任委員会委員長 鈴木健充